

和歌山大学システム工学部同窓会理事会議事録

1. 日 時 平成27年6月6日(土) 14:30～17:15
2. 場 所 システム工学部長室
3. 出席者 (副会長) 真国一起、山根健太郎、谷口正伸、菊地邦友
(理事) 山野井康、蓬萊史昭、安江伴輔、芳村広幸、宮部真衣
(顧問) 伊東千尋
(事務局) 青木 稔、木下ひろみ、久保重夫
欠席:(会長) 別所良起
(理事) 川村 工、辰巳茉末絵、坂東良樹

4. 議事次第

和歌山大学同窓会理事会・総会終了後、システム工学部において、システム工学部同窓会理事会を開催した。今年度も、別所会長が都合により出席できなかったことから、真国副会長が議長となり、議事進行を行った。

(1) 平成27年度役員について

事務局より資料1に基づき、新役員として理事3名を増やしたいこと及び新役員が了承された場合は本日のこの会議より審議に参加してもらうことの説明があり、審議の結果、原案のとおり了承された。

なお、(1) 議題が了承された後、出席者全員の自己紹介を行った。

(2) 平成26年度決算の承認について

事務局より資料2に基づき、平成26年度の収支説明及び菊地副会長(会計担当)から監査報告が行われ、審議の結果、原案のとおり了承された。

なお、毎年必要な予算が確定してきていることから、来年度より予算案を作成することとなった。

(3) 学部創立20周年記念式典について

① 20周年記念式典・祝賀会開催までの経過及び準備スケジュール(案)

事務局より資料3に基づき、今までの経過及び今後のスケジュールについて説明があり、審議の結果、原案のとおり了承された。

② システム工学部創立20周年記念式典・祝賀会〔同窓会主催〕(案)

事務局より資料4に基づき、式次第内容における朱書き部分の役割分担について決定する必要があることの説明があり、以下のように役割分担を決定した。

・記念式典 司 会：山根副会長

閉式の辞：真国副会長

・祝賀会 司 会：山根副会長

卒業生・修了生等への思い出インタビュー担当：山野井理事

閉会の挨拶：真国副会長

なお、卒業生・修了生等への思い出インタビューについては、内容がまだ未確定なので

山野井理事がリーダーとなって、他役員と意見交換を行いながら内容を詰めていくこととなった。

また、上記の役割分担以外については、原案のとおり了承された。

③ 開催までの準備について

事務局より資料5に基づき全体説明の後、20年のあゆみのスライド作成等担当の安江理事から準備状況と、20周年記念史担当の谷口副会長より編集方針等について説明があった。

また、記念品の作成についてどうするか審議した結果、30万円～35万円程度の予算の範囲で作成することとなった。

記念式典全体の予算額としては、200万円程度とし、概ね下記の内訳とした。

| | | |
|----|-----|--------------------------|
| 内訳 | 祝賀会 | 120万円 (@8,000円×150人) |
| | 記念史 | 30万円 |
| | 記念品 | 30万円～35万円 (@1,500円×200個) |
| | その他 | 15万円～20万円 |

上記以外については、原案のとおり了承された。

④ 招待者等出席者の範囲及び依頼（周知）方法

事務局より資料6に基づき説明があり、原案のとおり了承された。

なお、県知事及び市長の招待については、記念式典のみとすることを確認した。

(4) システム工学部同窓会の愛称名について

事務局より資料7に基づき、11点の愛称名の応募があったこと及びその決定方法等について説明があり、下記のとおり進めることとなった。

- ・決定方法については、愛称名募集時と同様に Google フォームで投票ページを作成しログイン不要の2択式記名投票で決定する。

なお、投票期間は広報開始時点から9月18日までとする。

- ・この役員会における愛称名2点の選考については、事務局を含む全出席者により挙手をもって決定することとし、その結果、下記の2点が選ばれた。

「紀創会」 「@sys」

- ・採用決定者等への記念品（賞品）については、下記のとおり行うこととなった。

決定者の方： 最優秀賞 3万円 ギフト券

次点の方： 優秀賞 1万円 ギフト券

(5) 平成27年度和歌山大学柑芦会大阪支部総会への参加について

事務局より今年度も柑芦会大阪支部から出席依頼があると予測されるため、本学部同窓会から出席するものを決めておきたいことの説明と、本日欠席の川村理事から、他の役員で特に出席希望がない場合は、自分が出席してもかまわないとの事前メールがあったことの報告があった。

今年度も昨年と同様川村理事に出席していただくこととし、川村理事が都合により出席できない場合は、山根副会長が代わりに出席することとなった。

(6) その他

① 生涯アカウントを利用したオンラインによる証明書の発行について

事務局から資料8に基づき説明があり、下記のとおり取り扱うこととなった。

- ・3年後の2018年まで続けることとし、決算報告は毎年度行う。

- ・卒業生向けコミュニケーション・リーフレット等に掲載し利用促進を図る。
- ・電話等での証明書の発行依頼があった場合には、生涯アカウントの利用を勧める。

② 同窓会5カ年計画について

事務局より資料9に基づき、山野井理事から2年前に提案のあった計画書であり、概ねこの計画に沿って進行してきたことと、今後の計画について修正或いは補正していきたい旨の説明があった。

また、計画にある関東支部の立ち上げについては、本日の大学同窓会理事会・総会において関東地区に和歌山大学同窓会事務局（東工大キャンパスの中）1室を設けるとのことで、本学部同窓会においても会議等に使用できるのではないかとの報告があった。

したがって、取り敢えず上記施設を利用するなどして、関東地区で集まれる会を作る。

また、連絡方法として従来の連絡用メーリングリストからオンラインで意見交換ができるように Google グループへと段階的に移行し、その他でもハングアウトなど生涯アカウントを利用したコミュニケーションの試行・検討も並行して進める。

③ その他

昨年度の卒業記念品については、例年に比べ割高になったことから、予算額をどの程度にすればよいかとの意見があり、過去数年の支出額から審議した結果、100万円程度を目途とすることを申し合わせた。